

施策評価シート

施策等名称	史跡保存された縄文遺跡の保護の充実	体系番号	0201020401
		主管課	文化財課

1 施策基本情報

現状と課題	茅野市には尖石遺跡、上之段遺跡、駒形遺跡の三つの縄文時代の国史跡があります。また、国宝「土偶」(仮面の女神)が出土し縄文公園として整備された中っ原遺跡があります。これらの保存された遺跡を保護・保全し、まちづくり・人づくりの核として整備・活用の充実を図ることが必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	国特別史跡尖石遺跡、国史跡上之段遺跡、国史跡駒形遺跡を、各史跡の特性に基づき整備し、「縄文の里」の基礎を整えます。 縄文史跡・歴史的な遺産をまちづくり・人づくりにいかし、個性・独自性ある地域社会や観光の創出を推進し、地域の歴史・文化・自然を守り伝える語り手・担い手の育成を図ります。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2022年度目標値	2027年度目標値
①	尖石遺跡試掘調査率	試掘調査面積/国特別史跡指定面積(%)	10.00	12.50	15.00
				66.00	90.00
②	上之段遺跡詳細分布調査率	詳細分布調査面積/国史跡指定面積(%)	42.00	6.00	8.00
③	駒形遺跡試掘調査率	試掘調査面積/国史跡指定面積(%)	4.00		

施策の柱1	名称	尖石遺跡の保全と維持管理の充実		主管課	文化財課			
	詳細	尖石縄文考古館を中心に、縄文文化を体感できる場、学習の場として、史跡公園の整備と活用を進めます。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	試掘調査率	試掘調査面積/国特別史跡指定面積(%)	10.00	12.50	1	尖石史跡公園整備事業	実施
					15.00	2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策の体系	施策の柱2	名称	上之段遺跡の保全と維持管理の充実		主管課	文化財課			
		詳細	詳細分布調査を進め、遺跡の状況把握に努めると共に、史跡の保全に万全を期します。						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
		1	詳細分布調査率	詳細分布調査面積/国史跡指定面積(%)	42.00	66.00	1	史跡整備・管理事業	実施
						90.00	2		
		2					3		
							4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							

施策の体系	施策の柱3	名称	駒形遺跡の保全と維持管理の充実		主管課	文化財課			
		詳細	試掘調査を進め、遺跡の実態把握に努めると共に、史跡の保全に万全を期します。						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
		1	試掘調査率	試掘調査面積/国史跡指定面積(%)	4.00	6.00	1	史跡整備・管理事業	実施
						8.00	2		
		2					3		
							4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							

施策評価シート

施策等名称	史跡保存された縄文遺跡の保護の充実	体系番号	0201020401
		主管課	文化財課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の柱 4	名称	中ッ原遺跡の保全と維持管理の充実			主管課	文化財課		
	詳細	中ッ原遺跡の適正な維持管理や整備に努め、利用者の快適な公園利用を図ります。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1	公園水道利用数	水道利用量(m <sup>3</sup> )	18.00	22.50 27.00	1・史跡整備・管理事業	実施	
	2							
	3							
	基本政策間連携							
	施策の柱 5	名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
1								
2								
3								
基本政策間連携								
施策の柱 6		名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
	1							
	2							
	3							
	基本政策間連携							
	施策の柱 7	名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
1								
2								
3								
基本政策間連携								

施策等名称	史跡保存された縄文遺跡の保護の充実	体系番号	0201020401
		主管課	文化財課

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱1	試掘調査率(%)	10.00	10.00				
		1	12.50	80.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	当年度は史跡外を対象に調査をしており、成果指標の試掘調査率(史跡内)に調査面積を反映することができない。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	詳細分布調査率(%)	42.00	49.00				
		1	66.00	74.24	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	平成29年度(2017年度)の調査率に対し1%の微増であるが、確実に調査率は上がっている。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3	試掘調査率(%)	4.00	4.00				
		1	6.00	66.67	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	当面、試掘調査は予定していない。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱4	公園水道利用数(m³)	18.00	11.00				
		1	22.50	48.89	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	昨今の縄文ブームから公園利用者数の激減は考えにくく、手洗いを使用しない利用が多かったのではないと思われる。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	史跡保存された縄文遺跡の保護の充実	体系番号	0201020401
		主管課	文化財課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	5,740,344	6,904,000 1.20			
	うち一財(円)	5,740,344	6,904,000 1.20			
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	尖石遺跡では、遺跡範囲確認調査の実施、総括報告書の作成、第2期史跡整備計画の策定、史跡整備有識者会議の開催等に取り組んだ。上之段遺跡では、平成20年度から継続中の詳細分布調査を小学校児童と共に実施した。縄文を意識したまちづくり・人づくりが着実に進んでいる。				
	課題	遺跡の内容が大よそ把握され、史跡整備された尖石遺跡に対し、上之段遺跡と駒形遺跡は遺跡の内容に不明な点が多いため、直ちに整備に移行することができない。尖石遺跡の第2期史跡整備と並行して、上之段遺跡の詳細分布調査、駒形遺跡の試掘調査を進めなくてはならない。				
改革・改善	改革・改善内容	これまで国指定史跡の整備・活用に関わる文化庁協議は個別に行われてきた。これからは「縄文の里史跡整備・活用基本計画」に位置づけた史跡の特性をいかした整備・活用の方法を探ると共に、「縄文の里」を意識した面的な整備・活用を視野に入れ協議を行なっていく。				
	重点化する施策の柱	1				
	重点事務事業	1				
理由	尖石遺跡の史跡公園は、隣接する尖石縄文考古館と共に、縄文を意識したまちづくりの推進拠点である。遺跡の保全と、第2期整備計画による史跡公園と周辺環境の整備を進め、「縄文の里史跡整備・活用基本計画」の基盤を整えていく。					

作成担当者	小池岳史				
最終評価責任者	平出信次				
最終評価年月日	令和元年5月29日				